

学校法人 滋慶学園 東京福祉専門学校
平成 28 年度学校関係者評価結果報告書

(学校関係者評価委員の評価および意見)

評価項目	学校関係者評価委員の評価点 (平均) 3. 優れている 2. 適切 1. 改善が必要	評価委員の評価内容および意見
1. 教育理念・目的・育成人材像	2. 9	<p>社会的に評価の高い実学に力を入れていることがよく理解できる。地域にも上手く溶け込んでいると思われる。「FUREAI」は新しいサービスであり今後の展開に期待している。多様化される福祉ニーズに対し、先を見た取り組みであると評価できる。学生にとっても「FURAI」は学んだことを実践できるので、卒業後の現場で活躍するための力を養うことができるのではないかと。実際に子どもや地域の方々とふれあいは学生にとって良い勉強になっていると思う。他の学校では学校の授業のなかでふれあえる機会がない。</p> <p>学校の強みをしっかりとアナウンスし、他校との差別化をしっかりと打ち出す必要がある。</p>
2. 学校運営	3. 0	<p>日常から教職員の対応はとてよく安心して学生を任せられる。熱心な先生が多いと感じられ、この点からも学校運営は良いと推察できる。</p> <p>人事考課システムはとて興味深い、一般的に分かりづらさを感じられる部分もある。教育力の向上が教職員の負担にならないように注意して欲しい。</p> <p>なお、学校の行事等や学生の成果について保護者への周知や確認の機会を増やすことが望まれる。</p>
3. 教育活動	3. 0	<p>教育カリキュラムは養成目的や教育目標に基づいて綿密に組まれている。専門学校としての目標の1つである国家資格に向けての教育活動についても明確である。目標とする資格取得がより多くの学生に可能となるように今後も教育を実施して頂きたい。</p> <p>学生のモチベーション維持に成績評価において小テストを導入していることが大きく影響していると感じられる。</p> <p>社会に出てから通用する教育をしっかりとこなうという意</p>

		<p>識を常に持って頂きたい。システムは確立しても教員の教え方ひとつで学生は変わるということを念頭に。</p> <p>卒業生教員の採用を増やしていることは多いに評価できるが、卒業生だからという甘えが出ないように注意して欲しい。</p>
4. 学修成果	2. 6	<p>専門学校にとって就職率、資格取得率の高さは最大のアピールになると考える。就職率については高い数字を出しており、これからも継続できるように取り組んで頂きたい。資格取得に対する学修成果は着実に上がっている。カリキュラムを適宜見直していることも効果的であると思われる。</p> <p>担任制をとっていることで一人ひとりの学生を見られると思うので、一層学生支援に取り組んで欲しい。</p> <p>卒業生の社会的評価については、学校として1年以内の離職防止に取り組み効果が出ていることが評価できる。一方で卒業してから3～5年経過すると現場では責任が出てくる立場になってくるのでこのことも念頭において欲しい。</p>
5. 学生支援	2. 4	<p>学生相談室を始め、中途退学者への対応等の学生支援に真面目に取り組んでいる。学生本人に対する相談・支援・指導体制はしっかりと確立できている。学生だけでなく保護者とも連携を図る姿勢も伺えるが、年齢が高い学生もおりにくい環境のなかで創意工夫をして欲しい。学生の能力（身体的、精神的要因を含む）によるところもあるだろうが、将来を見据えてやりたいことを気づかせる工夫をもうひとつ考えて欲しい。学校生活が楽しくなれば退学率も減少すると思われる。</p> <p>担任制をとっていることの利点は多く、上手く機能していると評価できるが、特定の学生への支援に偏らないように留意して欲しい。</p>
6. 教育環境	2. 9	<p>施設・設備等については定期的にリニューアルをおこなっている。また、整備も上手くできていることから、良好な教育環境が保たれ、学生の意欲が高まることに繋がっている。</p> <p>学外実習については学生個々の状況を見て、実習先を選択している。そのことで学修効果が高まっていると評価できる。</p>
7. 学生の募集と受け入れ	3. 0	<p>オープンキャンパスは志望動機、将来像の確認には最適な運営ができている。少子化が進行するなかで、学生募集活動には熱心に取り組んでいる。今後、福祉人材確保の観点から毎年、学校の強みをしっかりと伝え、入学生の確保をおこなってもらいたい。</p> <p>入学選考について問題はないが、適性や資質がどの程度反映しているのかは気になるころではある。入学する動機が明確な学生は他校よりも質の高さを感じられる。</p>
8. 財務	2. 7	<p>問題はない。学校法人としての立場を良く理解しており、財務基盤の確立および財務情報の公開に積極的に対応している。</p>

9. 法令等の遵守	2. 9	<p>学校法人として法令等の遵守には的確に対応できている。</p> <p>個人情報保護についても学校の体制としては問題ないが、現在も取り組みをおこなっている学生に対しての個人情報保護への意識付けを一層実施して欲しい。</p> <p>専門学校として第三者評価を受審した点が多いに評価できる。</p>
10. 社会貢献	3. 0	<p>教育機関として社会貢献・地域貢献に前向きに対応しており高く評価できる。これからは地域に根ざした教育活動が評価されてくると思われるので、既に取り組んでいるがこの観点を強化して良い評価を受ける学校であって欲しい。</p>

●学校関係者評価結果の活用について

本校の教育理念や養成目的・教育目標については評価委員から高い評価を頂いている。教育活動や学生支援についても概ね高い評価を頂いている。学校としてこれらを踏まえて全ての教職員がしっかりと取り組むことで就職率、国家試験合格率、退学率においてより改善した数字をだしていく所存である。

新しく掲げた「FUREAI」のコンセプトは委員から評価を頂いており、今後、より一層充実した内容となるように取り組んでいく。このことで他校との差別化を図っていく。

昨年と同様に委員から学生層が多様化していくなかで、1人1人を大切にす本校の教育が支持されている。「広報＝教育」であるとの考えから入学前からの取り組みを引き続きしっかりと実施していく。在学中の学生支援・教育については、各担任がクラスの事業計画をたて、学部（学科）でそれを推進していく。そのなかで目指すべき方向や課題を明確に把握し、各クラスに必要な支援を実施し、進捗を確認していく方針である。

●学校関係者評価委員会

【委員氏名】

学校関係者評価委員

- 西田 憲司 卒業生代表
- 野沢 裕美子 保護者代表
- 笹本 隆悦 高校関係者(叡明高等学校 校長)
- 桜井 道夫 近隣関係者(清新北ハイツ自治会副会長)
- 平方 俊雄 業界関係者(社会福祉法人 東京栄和会 理事長)
- 大江 恵子 業界関係者(社会福祉法人清香会 統括園長)
- 皆川 隆太 業界関係者(就労移行支援事業所 natura 管理者)
- 内海 哲也 業界関係者(佐倉厚生園病院 作業療法士 主任)

学校側参加者

- 小林 和弘 東京福祉専門学校 学校長
- 古島 暉大 学校法人滋慶学園 常務理事

結城 健二	学校法人滋慶学園	葛西エリア長
望月 健司	東京福祉専門学校	事務局長
舘脇 康郎	東京福祉専門学校	事務局次長兼教務部長
奥村 丈司	東京福祉専門学校	リハビリテーションワーク学部長
木村 早希	東京福祉専門学校	チャイルドケアワーク学部長
佐藤 祐子	東京福祉専門学校	ソーシャルワーク学部長
高野 大輔	東京福祉専門学校	キャリアセンター長

【平成 27 年度 学校関係者評価委員会】

平成 28 年 6 月 13 日 15:00～17:00

滋慶学園東京本部 会議室にて実施

※ 次回は平成 29 年 6 月に実施予定